

課題番号： 10

テーマ名称： 回廊開発のための物流促進

1. 主な対象国・地域	北部回廊：ケニア、ウガンダ ナカラ回廊：モザンビーク 西アフリカ成長リング：コートジボワール、ブルキナファソ、ガーナ、トーゴ、ベナン、ナイジェリア
2. 分野	都市課題・経済回廊（インフラを含む）
3. 関係する SDGs ターゲット	11.a 各国・地球規模の開発計画の強化を通じて、経済、社会、環境面における都市部、都市周辺部、および農村部間の良好なつながりを支援する。 9.1 質が高く信頼できる持続可能かつレジリエントな地域・越境インフラなどのインフラを開発し、すべての人々の安価なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援する。 9.2 包摂的かつ持続可能な産業化を促進し、2030年までに各国の状況に応じて雇用およびGDPに占める産業セクターの割合を大幅に増加させる。後発開発途上国については同割合を倍増させる。 9.a アフリカ諸国、後発開発途上国、内陸開発途上国および小島嶼開発途上国への金融・テクノロジー・技術的支援の強化を通じて、開発途上国における持続可能かつレジリエントなインフラ開発を促進させる。
4. 対象国・地域の当該分野の一般的な現状	現在、世界の半分以上の人口が都市に集中しており、多くの開発途上国において、大都市が経済成長のけん引力となっている。都市部に開発が偏重し、経済活動と人口が集中する一方で、地方部やアクセス条件の悪い内陸部ではインフラ整備が十分に進まず、産業開発が停滞し、都市部との地域間格差が拡大する傾向にある。JICAの回廊開発アプローチは、国・地域の経済活動の中心となる重要幹線（回廊）を軸に捉え、地域の産業ポテンシャルを見出し、インフラ整備を通じて地域全体の活性化を図ることで投資促進と市場拡大の好循環をつくり、もって包摂性の有る地域開発につなげることを目指している。JICAはTICAD V以降、東部アフリカにおける北部

	<p>回廊、ナカラ回廊、西アフリカ成長の環の3回廊において戦略的マスタープランの策定支援を実施してきた。2019年8月に予定されているTICAD7に向け、これら戦略的マスタープランにて策定した優先プロジェクトの実施を促進していくと共に、関連する広域開発支援を行っていく。各回廊の戦略的マスタープランの実施における主な課題は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●北部回廊・ナカラ回廊：我が国の資金協力、他ドナーや新興国の支援を通じたインフラ整備、民間投資が進む中、より包摂的な開発を促進するためには公的機関による優先プロジェクトが実施と合わせ、民間事業によるサービス拡大が望まれる。 ●西アフリカ成長リング：内陸部との連結、市場統合、民間の進出何れの点も、黎明期と呼べる状況である。広域インフラ整備や市場統合に向けての関税同盟の強化等、公的機関が担う役割が大きい。民間のイノベティブなソリューションでリープフロッグを狙い、早期に開発課題に対応することが求められる。特に、西アフリカの沿岸部市場規模は将来7千万人規模に成長すると言われていたが（2040年時点、JICA調査による）、日本の民間企業については、言語（仏語）の障壁もあり、東アフリカほど進出していないのが現状である。
<p>5. 解決すべき課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・回廊開発促進のために障害となる各種の物流課題 <p>例：農業の生産性を高めるための技術革新、競争力を強化するためのバリューチェーン強化、効率的な輸送を実現するためのICT技術、農業・医療の品質保持のためのコールドチェーンの確立、物流網の効率化を図るための改善策等</p>
<p>6. 上記をとりまく状況</p>	<p>JICAの戦略的回廊基本計画（マスタープラン）は、域内産業の活性化と、交通・物流インフラ整備の両輪により、域内の成長市場との結び付けを強める戦略を提唱する。内陸部・沿岸部マーケットとのコネクティビティは、従って産業ポテンシャルを活かす戦略的なインフラ整備が重要であるが、一方で物流事業者の活発な投資活動やソリューションが寄与するところが多い。以下の3点において民間からのソリューションの提案が求められる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 回廊開発における産業開発上の課題 ② 回廊開発における港湾運営・利用の円滑化 ③ 回廊開発における各種インフラ設備（保税倉庫、ドライポート、トラックターミナル等）の運営・利用の円滑化

	2019年1月～3月にかけて、3回廊の整備状況及びインフラ開発・整備の効果を検証するための基礎情報収集調査を実施予定。
7. 活用が想定される技術・製品・ビジネスモデル	<ul style="list-style-type: none"> ●これまでの回廊マスタープラン（北部回廊、ナカラ回廊、西アフリカ成長の輪）において提示・議論されている物流課題に対するソリューション（例：フードロスの削減にも寄与するコールドチェーン技術、生産地情報のリアルタイム捕捉、物流効率改善、物流拠点整備等）の提示を求める。 ●回廊の物流円滑化を進めていくにあたり、回廊上の起点・終点の港湾における荷揚げ、関税手続きの改善が求められている。 ●回廊上の物流の円滑化を図る上で重要と考えられるインフラ設備（保税倉庫、ドライポート、トラックターミナル等）の提案。開発から運営・事業手法も含めた提案を求める。
8. 主要関連政府機関・ステークホルダー	<ul style="list-style-type: none"> ●北部回廊 ケニア国 運輸・インフラ・住宅・都市開発省 ウガンダ国 公共事業・運輸省 東アフリカ共同体(EAC) ●ナカラ回廊 モザンビーク国 投資庁 ●西アフリカ成長リング 西アフリカ経済通貨連合 (WEMOA) ガーナ国 道路省 (MRH: Ministry of Roads and Highways)
9. 当該国・課題に対する日本政府・JICAの方針・戦略、関係するODA事業、他ドナー情報	<p>対ケニア国 国別援助方針 対ウガンダ国 国別援助方針 対モザンビーク国 国別援助方針 対コートジボワール国 国別援助方針 対ブルキナファソ国 国別援助方針 対ガーナ国 国別援助方針 対トーゴ国 国別援助方針 対ナイジェリア国 国別援助方針</p> <p>https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/region/africa/index.html</p> <p>「アフリカ地域北部回廊物流網整備マスタープラン策定プロジェクト」最終報告書（英文、Vol1&2） http://open_jicareport.jica.go.jp/pdf/12291779_01.pdf http://open_jicareport.jica.go.jp/pdf/12291779_02.pdf</p>

	<p>「モザンビーク共和国 ナカラ回廊経済開発戦略策定プロジェクト」最終報告書（英文、Vol1&2） http://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000028981.html http://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000028982.html</p> <p>西アフリカ成長リング回廊整備戦略的マスタープラン策定プロジェクト」最終報告書（英文、Vol1-3） http://open_jicareport.jica.go.jp/pdf/12308821.pdf http://open_jicareport.jica.go.jp/340/340/340_500_12308839.html http://open_jicareport.jica.go.jp/pdf/12308847.pdf</p> <p>・SDG ポジションペーパー ゴール9 https://www.jica.go.jp/aboutoda/sdgs/ku57pq00002e2b2a-att/goal09_j.pdf</p>
10. 留意点・リスク	
11. 参考情報	

※科学技術イノベーション（STI）を含む新しい技術の活用の積極的な提案を期待しています。

【STI（Science, Technology and Innovation）】

科学的な発見や発明等による新たな知識を基にした知的・文化的価値の創造と、それらの知識を発展させて経済的、社会的・公共的価値の創造に結びつける革新。アフリカでは、モバイル技術等を活用した革新的なサービスも急速に普及してきており、課題解決及びSDGs達成のツールとしてSTIの活用が期待されています。革新的な技術により、これまで開発の成果が届かなかった人、場所に開発の成果を届けることができたり、革新的な効率化や質の向上を図り、時間的、費用的にコストを大幅に引き下げるなどの効果が見込まれます。